

平成29年度第3回小地域福祉ブロック会議の開催について

目 的 第3回の小地域福祉ブロック会議は、平成29年度の取組について住民から意見・評価、今後につなげるため、地域特性を考慮した3地区をモデルとして開催した。

開催日時 朝日ヶ丘地区小地域福祉ブロック会議 平成30年1月23日(火)
 浜風地区小地域福祉ブロック会議 平成30年1月24日(水)
 精道地区小地域福祉ブロック会議 平成30年1月26日(金)

アンケート集計(抜粋)

地域白書の使い方	今後の取組	小地域福祉ブロック会議のあり方
<ul style="list-style-type: none"> ・地域を意識して見ることができたことは良かったので、課題を解決できるよう取り組みたい。 ・マンション関係の皆さんには事後報告を続けて行くことが大切 ・地域に配布できるものとして作成したい。 ・来年に続けて行ってほしい。 ・地域課題の解決に向けて具体的に取り組んでいきたい。 ・他地区の様子から学んでいきたいが町の独自性もあるので安易に取り入れることは難しい。 ・情報共有、課題抽出 ・他地域の問題を自分の地域で見なおす。 ・自分の地域で解決できている課題があれば解決方法を知らせる。 ・知識として吸収して活動を伝えていく資料として使いたい。 ・まとめ作業を続けられる仕組みづくり ・よく読んでポイントをピックアップしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住みたい町、住んで良かった町にしていきたい。 ・地域の実情になったもの ・具体的生活課題の解決に向けた住民と共に行うプロジェクト ・今現在元気な方々がいつまでも健康を維持し寝たきりをつくらないコミュニティ作りに自分ができることをする。 ・子育て世代への対応 ・男性への参加呼びかけ ・マンションとの関わり方 ・「この町がすき」と思えるまちづくり、子育て世代への働きかけ ・ますます高齢化がすすんでいく中、地域で若い世代と高齢世代をつないでいくような活動がしたい。 ・子育て教育のまち芦屋をどう実現するか。 ・支える若者の参加！ ・若い世代が思っている住みやすいまちづくり ・組織づくり、若い人材の発掘、育成、継承 ・浜っぶの更新 ・多世代交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職を呼んでまちづくりのノウハウを教えてもらいたい。 ・小ブロのおかげで地域の横のつながりを感じられるようになりました。警察関係として、防犯協会婦人部や地域ふれあいの会にも出席をお願いしてみたらどうでしょうか。 ・議事録を欠席者にフィードバックし、欠席の方と意識を共有する。 ・今日はこれを決めるという具体的な課題を出してほしい。 ・若い世代が積極的に参加できるような場にしてほしい。 ・課題に対して具体的に取組めることを期待します。 ・会議の目指すところが大きすぎで話し合う魅力が感じられない。小さいテーマで話し合えるといいと思う。 ・行政として提示された課題への着手状況の報告、着手できていない状況の報告を継続してください。 ・課題内容を事前に提供し意見をまとめてから参加できれば良かった。 ・来年度の取組について話が出たので、来年度取り組めるよう検討をお願いします。

平成30年度以降の小学校区における住民福祉ビジョン

朝日ヶ丘地区	浜風地区	精道地区
<p>ビジョン 子どもが増える地域づくり 若い世代を呼び込む 安心して出掛ける環境づくり 高齢者が外へ出られる町 若者も高齢者も分け隔てない町 地域住民の絆づくり</p> <p>取組案 周りの人に目を向ける 住民の足(移動手段)づくり 地域サロンの誘致 安全安心の町づくり</p>	<p>ビジョン お互いを支えあう共助社会 温かい地域づくり(みんなが民生委員のように) 若い世代との交流</p> <p>取組案 浜っぶの改訂版 Facebook の活用 人材発掘・育成(民生委員などから声かけ→役に立ちたい気持ちを活かすきっかけ) 自治会に民生的な役割の人がいる</p> <p>会議について 次回、取り組んだことの報告 誰か1人連れてくる(他の住民の意見・考えを聞く)</p>	<p>ビジョン みんなが民生委員のような気持ち 無関心でない町 子どもたちが住みたい町 世代交代や安心して子育てできる地域の幸せを作っていく 住んでよかった、住みたいという地域</p> <p>取組案 挨拶を自由に交わせる 高齢化した町をどう支えていくか 多世代交流をしている町の取組を聞く</p> <p>会議について 芦屋に住みたくなるよう話し合える場 芦屋で出来ることを行政と市民と一緒に考える みんなで力を合わせて少しずつ解決していく会議 子どもたちの親世代の相談にのる若い世代が出席できる会議に！ 子育て世代、子ども連れでも大丈夫な会議に(キッズスペース等)</p>

小地域福祉ブロック(3地区)の共通の意見

- ①若い世代(子育て世代)の会議参加
- ②会議の開催状況や内容を周知・啓発
- ③会議ごとに話し合う具体的課題(テーマ)の提示